



質問

能登半島地震をどう考えるか

町長

町民の防災意識の向上を図る

糸原 文昭 議員

質問 能登半島地震では被害者が多かった。町の現状を踏まえ、災害について、どう考えているか。

町長 町民の皆様は防災意識の向上を図るとともに、地域コミュニティの醸成に努める。

質問 近年発生した地震災害に対して、対応の見直しや対策を考えているのか。

町長 停電でも情報伝達が可能で防災無線と個別受信機を配備している。被災自治体などの事例も参考に対応などを研究していく。

質問 災害発生時に自治会に入っていない方、新たに転入や移住された方などの掌握方法は。

町長 災害分野での個人情報活用への指針に基づき実施する。DXを活用した安全確認も検討する。

高齢者・単身者の意志共有の仕組みについて

質問 頼れる家族や知人のいない一人暮らしの高齢者や単身者が増えている。どのような支援を行っているのか。

いは、今後社協と実施の可能性について検討する。

質問 認知症や障がい者の支援として、成年後見人制度があるが、町として終活支援が必要と思うが。

町長 意志決定が困難な方に、町では成

年後見人支援事業があり、費用等の助成を行っている。また、奥出雲町版エンディングノートがある。これは人生の最終段階をどう過ごしたいかなどを書き記しておくもので、住民への普及活動を行っている。



令和6年1月20日 石川県七尾市の被害状況

質問 高齢者の困りごとは、金銭管理や外出、入院や介護施設への入居の身元保証等があるが、死後の手続き等の支援は。

町長 死後の事務任意事務委託契約につ



一人暮らしの高齢者（イメージ）